

【情報提供内容】

米軍再編に係る訓練移転（回転翼機及びティルト・ローター機等の沖縄県外への訓練移転）に関する訓練計画概要について、以下のとおりとなりましたので、お知らせします。

今回の訓練移転は、平成28年9月1日付の日米合同委員会合意に基づき、沖縄県外での訓練の一層の推進を図り、訓練活動に伴う沖縄の負担を軽減するため、現在普天間飛行場に所在するティルト・ローター機等の訓練活動を沖縄県外に移転し、国内における米海兵隊との実動訓練（フォレストライト（MA））に組み込んで実施するものであり、今回で訓練移転は8回目（国内7回、グアム等1回）となります。

- 訓練期間：令和元年12月1日（日）～12月13日（金）
- 参加部隊：〔米軍〕第1海兵航空団第36海兵航空群第262海兵隊中型ティルト・ローター機飛行隊（普天間）、第3海兵師団第4海兵連隊第1-25大隊基幹
〔陸上自衛隊〕第13旅団第8普通科連隊基幹
- 訓練場所：饗庭野演習場、国分台演習場 等
- 訓練項目：ヘリボン訓練 等
- 参加規模：〔米軍〕MV-22×4機程度、人員300名程度
〔陸上自衛隊〕UH-1×3機程度、AH-1×2機程度、人員450名程度

※1 MV-22は、本訓練の機体整備等のため陸上自衛隊明野駐屯地を使用予定です。

※2 本内容については、今後、変更される場合があります。